



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月26日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部担当 (氏名) 大山 秀徳 (TEL) 03(5261)7612
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	5,833	15.1	866	8.7	1,030	13.2	649	20.2
22年3月期第1四半期	5,068	6.1	796	14.4	910	19.3	539	4.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	46.68	-
22年3月期第1四半期	38.80	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	33,947	28,780	84.8	2,070.45
22年3月期	34,668	28,757	83.0	2,068.18

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 28,780百万円 22年3月期 28,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	-	-	-	30.00	30.00
23年3月期	-	-	-	-	-
23年3月期(予想)	-	-	-	20.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

平成22年3月期期末配当金の内訳 特別配当金10円を含んでおります。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	10,100	11.4	1,200	32.3	1,300	25.0	800	28.0	57.54
通 期	20,300	3.2	2,100	9.8	2,300	8.8	1,300	10.2	93.51

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	14,000,000株	22年3月期	14,000,000株
23年3月期1Q	99,408株	22年3月期	95,313株
23年3月期1Q	13,902,810株	22年3月期1Q	13,912,266株

（ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示 ）

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

（ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項 ）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、3ページ 1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (2)連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2 . その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
3 . 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
【第1四半期連結累計期間】	
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の改善や政府の経済対策の効果等を背景に企業収益の改善が続くなか、輸出や生産、個人消費に回復の兆しが見られた一方、欧州を中心とした海外景気の下振れやデフレの影響が懸念される等、依然として厳しい状況にありました。

当社グループを取り巻く事業環境におきましても、依然として少子化やテレビ広告市場の落ち込み、DVD市場の飽和、娯楽の多様化等により厳しい状況が続いているものの、劇場用アニメーション作品の興行成績が好調に推移し、携帯端末・パソコン・テレビ・ゲーム機等への映像配信サービスやブルーレイディスク、3D立体映像等の新たなメディアの拡大の他、政府によるコンテンツ支援策が図られる等、アニメーションビジネスの拡大が期待されます。

こうしたなか、当社グループは、国内で「ワンピース」、「ハートキャッチプリキュア!」、「ドラゴンボール」シリーズ、海外で「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズを主とした、テレビ・映画・DVD・携帯端末・インターネット等への映像製作・販売事業や、キャラクターライセンス等の著作権事業、キャラクター商品の開発や販売等を行う商品販売事業、キャラクターショー等のその他事業を展開いたしました。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は58億33百万円（前年同四半期比15.1%増）、営業利益は8億66百万円（同8.7%増）、経常利益は10億30百万円（同13.2%増）、四半期純利益は6億49百万円（同20.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含みます）。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しておりますが、報告セグメントの映像製作・販売事業及び著作権事業については、同会計基準等適用前の事業の種類別セグメントの映像製作・販売事業及び著作権事業とそれぞれ同一の区分であるため、前年同四半期における各セグメントの売上高とセグメント利益（営業利益）を比較し、増減比率を表示しております。また、商品販売事業及びその他事業については、同会計基準等適用前の事業の種類別セグメントの関連事業の商品販売部門及びイベント部門とそれぞれ同一の区分であるため、前年同四半期における各部門との売上高とセグメント利益（営業利益）を比較し、増減比率等を表示しております。

映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、3月に公開した「映画 プリキュアオールスターズDX2 希望の光 レインボージュエルを守れ!」が前作を上回る興行成績を記録したものの、3月分の興行に関する収入を前期に計上済みであったことから、前年同四半期と比較して大幅な減収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」や「ドラゴンボール改」、「怪談レストラン」、「ハートキャッチプリキュア!」、「マリー&ガリー Ver.2.0」、「うちの3姉妹 おかわりばれたい」等を放映いたしました。前年同四半期に比べ放映本数が若干減少したことから、全体としては若干の減収となりました。

パッケージソフト部門では、新作で「フレッシュプリキュア!」や「ワンピース」等のDVDが好調に稼動したものの、ライブラリー作品全体におけるDVDの販売が減少したことから、大幅な減収となりました。

海外部門では、「ドラゴンボール」シリーズや「プリキュア」シリーズ、「ワンピース」等のテレビ放映権やビデオ化権の販売を全世界で積極的に行ったものの、前年同四半期に「ドラゴンボール」シリーズの北米ビデオ化権とイタリアテレビ放映権の大口の販売があったことの反動減により、大幅な減収となりました。

その他部門では、携帯端末やパソコン・テレビ・ゲーム機等で映像配信サービス等を行い、「ドラゴンボールANiMO」等が好調に推移し、また前年同四半期と比較して配信作品数が増加したこと等により、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は18億50百万円（前年同四半期比35.9%減）、セグメント利益は12百万円（同97.5%減）となりました。

著作権事業

国内部門では、「ワンピース」や「ハートキャッチプリキュア!」が好調に推移し、特に「ワンピース」の人気の一層拡大し、パズル等のキャラクター商品が大きく稼動したことから、前年同四半期と比

較して大幅な増収となりました。

海外部門では、欧州で「ドラゴンボール」シリーズのキャラクター商品等が堅調に推移しましたが、全体としては前年同四半期に比べ厳しく、為替の影響もあり、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は21億86百万円（前年同四半期比57.1%増）、セグメント利益は10億21百万円（同84.6%増）となりました。

商品販売事業

商品販売部門では、「ワンピース」や「ハートキャッチプリキュア！」に関連したキャンペーンやタイアップ商品等が好調に稼動し、特に「ワンピース」が大幅に伸びたことから、前年同四半期と比較して大幅な増収となりました。

この結果、売上高は16億92百万円（前年同四半期比132.1%増）、セグメント利益は56百万円（前年同四半期は2百万円の営業利益）となりました。

その他事業

その他事業部門では、「ワンピース」や「ハートキャッチプリキュア！」の催事やショーが好調に稼動し、全体としては大幅な増収となりました。

この結果、売上高は1億14百万円（前年同四半期比56.4%増）、セグメント利益は32百万円（同21.5%増）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）」を適用しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響は軽微であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,722,153	12,296,076
受取手形及び売掛金	3,961,798	3,997,615
商品及び製品	53,907	110,329
仕掛品	1,064,453	784,297
原材料及び貯蔵品	57,965	68,420
繰延税金資産	-	147,135
その他	648,230	587,551
貸倒引当金	56,353	62,137
流動資産合計	17,452,154	17,929,287
固定資産		
有形固定資産	3,642,971	3,669,535
無形固定資産	224,896	245,346
投資その他の資産		
投資有価証券	7,848,262	8,141,623
その他	4,818,882	4,722,078
貸倒引当金	39,738	39,738
投資その他の資産合計	12,627,407	12,823,963
固定資産合計	16,495,275	16,738,845
資産合計	33,947,429	34,668,133
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,688,914	2,928,184
未払法人税等	216,821	910,975
賞与引当金	94,627	225,039
その他	1,429,204	1,012,262
流動負債合計	4,429,568	5,076,462
固定負債		
退職給付引当金	504,964	505,218
役員退職慰労引当金	140,660	254,200
その他	91,722	74,784
固定負債合計	737,347	834,203
負債合計	5,166,915	5,910,665

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867,575	2,867,575
資本剰余金	3,409,575	3,409,575
利益剰余金	23,273,268	23,006,920
自己株式	24,305	17,986
株主資本合計	29,526,112	29,266,084
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	523,434	250,809
為替換算調整勘定	222,164	257,806
評価・換算差額等合計	745,598	508,615
純資産合計	28,780,514	28,757,468
負債純資産合計	33,947,429	34,668,133

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	5,068,282	5,833,329
売上原価	3,255,063	3,981,371
売上総利益	1,813,218	1,851,958
販売費及び一般管理費		
人件費	285,544	296,168
賞与引当金繰入額	43,181	45,260
退職給付費用	11,248	13,216
役員退職慰労引当金繰入額	6,010	5,840
その他	670,268	625,172
販売費及び一般管理費合計	1,016,252	985,656
営業利益	796,966	866,302
営業外収益		
受取利息	15,658	18,765
受取配当金	79,611	79,623
持分法による投資利益	6,595	69,744
為替差益	6,461	-
その他	5,381	18,438
営業外収益合計	113,708	186,572
営業外費用		
為替差損	-	22,428
匿名組合投資損失	271	-
その他	146	187
営業外費用合計	417	22,616
経常利益	910,256	1,030,258
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	16,205
特別損失合計	-	16,205
税金等調整前四半期純利益	910,256	1,014,052
法人税、住民税及び事業税	304,175	250,462
法人税等調整額	66,184	114,477
法人税等合計	370,360	364,939
少数株主損益調整前四半期純利益	-	649,112
四半期純利益	539,896	649,112

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。